MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

ミステリ読書案内

２０２２．８．１８　発行元
第 387 号　伊藤　剛
https://mystery-dokuan.com

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

渡辺裕之の代表作

『傭兵代理店』でスタートした時には「軍事ものミステリ」と思わせられたが、その後の作品を見ていると国際紛争、国際謀略の面に限らず、現在の世界のあり方を鋭く描き出している作家だと感じられる。

出発点で感じたこと

『傭兵代理店』の巻末の解説で香山二三郎はアクション・ヒーローについて書いている。大藪春彦の伊達邦彦、平井和正の犬神明、門田泰明の黒木豹介、松岡圭祐の岬美由紀…と例を挙げ、そこに繋がるものとして渡辺裕之の「藤堂浩志」の説明に入っている。

私は大藪春彦作品をそれほど評価している人間ではないので、渡辺作品が同列に書かれるのに違和感を感じた。藤堂の人物の描き方はヒーローという視点ではなく、已むに已まれぬ生き方の選択としてこの道にたどり着いたものと受け止めているのだ。そして、物事に対処する時はグループ、仲間を組織立てする。多くの場面で冷静で、感情的にならずに活動している。別にヒーローである必要はないのだ。

代表作。『傭兵代理店・リベンジャーズ』と『オッドアイ』はすぐ決まった。三番目は『暗殺者メギド』『シックスコイン』も候補に考えた。『シックスコイン』は今野敏作品を思わせる発想感が魅力。でも手近に本がなかった。ということで『冷たい狂犬』にした。今では各シリーズの登場人物が重なってきている部分も多いけれども。

NO.3「冷たい狂犬」

２０１６年角川文庫。かつて公安調査庁に勤めていた影山夏樹を主人公にしたシリーズの一作目。中国などに潜入し謀略工作に携わっていた時は「冷たい狂犬」と呼ばれて恐れられていた人物。

この物語の出だしでは、退職して練馬でカフェを開いている場面から始まる。元上司が来店して、極秘の仕事を依頼。一度は断るが、元コンビを組んでいた真木麗奈が来たので悩んだ末引き受けることに。日本の内閣情報室幹部が中国高官に情報を流している証拠を挙げること。場所は韓国のカジノ。中国の伝説のエージェントも登場して…。国際状況の分析も、カジノの場面の説明も現実に即した詳しいもの。リアル感満載の情報戦がすごい。

NO.1『傭兵代理店』

２００７年祥伝社文庫。渡辺裕之のデビュー作であり、彼の作品の一番の「顔」となるべきシリーズ。現在もシリーズは続いており、毎年新刊が出版される。現在２５冊。

主人公は傭兵の仕事をしてきた藤堂浩志。本書冒頭では、藤堂が東京の傭兵代理店を訪ねるところから始まっている。建物は時代遅れの質屋の外観だが、中は裏社会での武器保管庫であり情報の拠点「傭兵代理店」。そして店長の役目の池谷悟郎。藤堂は最初は警視庁に入り、捜査一課の刑事だった。十五年ちょっと前の事件を契機に退職し、フランス外人部隊に入隊。五年間の任期を勤めた後、フリーの傭兵となり、世界各地の紛争地帯でプロとして活躍した。その能力の高さから、各国の特殊部隊の講師として呼ばれるくらいの実力と評価されていた。本書では日本に戻ってすぐに発生した事件が発端になって、十五年前の退職の引き金になった事件へと遡ることになり、過去の未解決部分を解明する活動に入っていく。傭兵代理店を中心に頼りになる仲間たちが集まり、藤堂の動きを支えていく。やがて、事件は防衛庁、政府要人へと拡がっていき、活動の範囲も国内を出て、フィリピン、マレーシア、ミャンマーとアジア広域に展開していく。

No.2『叛逆捜査　オッドアイ』

２０１４年中央公論新社。現在は中公文庫。『オッドアイ』シリーズの一冊目。渡辺裕之のシリーズ中では最も重厚でレベルが高いのではないかと感じさせる。

主人公は警視庁捜査一課の刑事・朝倉俊暉。彼は父親の死をきっかけに大学を中退し、自衛隊に入隊。陸自の空挺団に所属した。ハワイで行われた日米合同演習中の事故により大怪我を負い、その時目に異常が起き、虹彩の色が薄くなるオッドアイになった。怪我により特戦群にいられなくなった朝倉は自衛隊を退職し、警察官になったという異色の経歴の持ち主。自衛隊と警察という二つの側面がこのシリーズの「肝」であり、朝倉の特殊能力が発揮される原点になっている。本書の冒頭で歌舞伎町でのゴタゴタも描かれているが、これは朝倉の日常風景。やがて自衛隊練馬駐屯地での自衛官殺害事件が関わってくる。自衛隊警務隊の国松陸曹長が登場し、倉庫のクレーンにつるされていた補給隊の陸士長の死体の捜査が始まる。首が切断されるという特殊な状況だった。怪しい人影が駐屯地から外に逃げ出したかもしれないと考えられ、警察との連携が必要になってくる。事件はどんどん大きなものに発展し、やがてアメリカ海軍犯罪捜査課も絡んでくることになる。